

ナブテスコ株式会社 第20回定時株主総会

2023年3月23日



第20期(2022年度)の ご報告

当社グループの当事業年度の業績

建設機械向け油圧機器

**中国市場での需要が
大幅に減少**

当社グループの当事業年度の業績

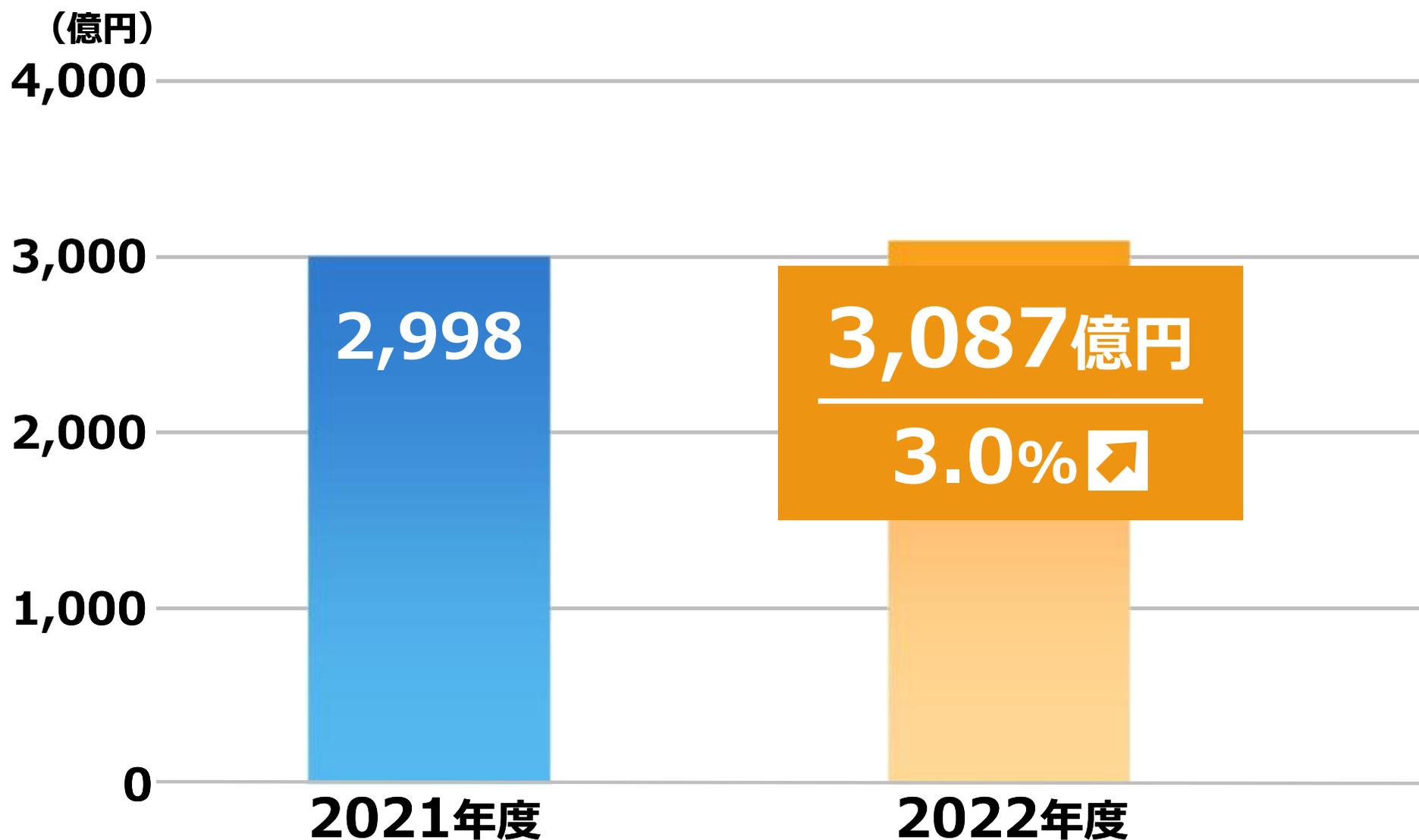
**産業用ロボット向け
精密減速機**

高い需要が継続

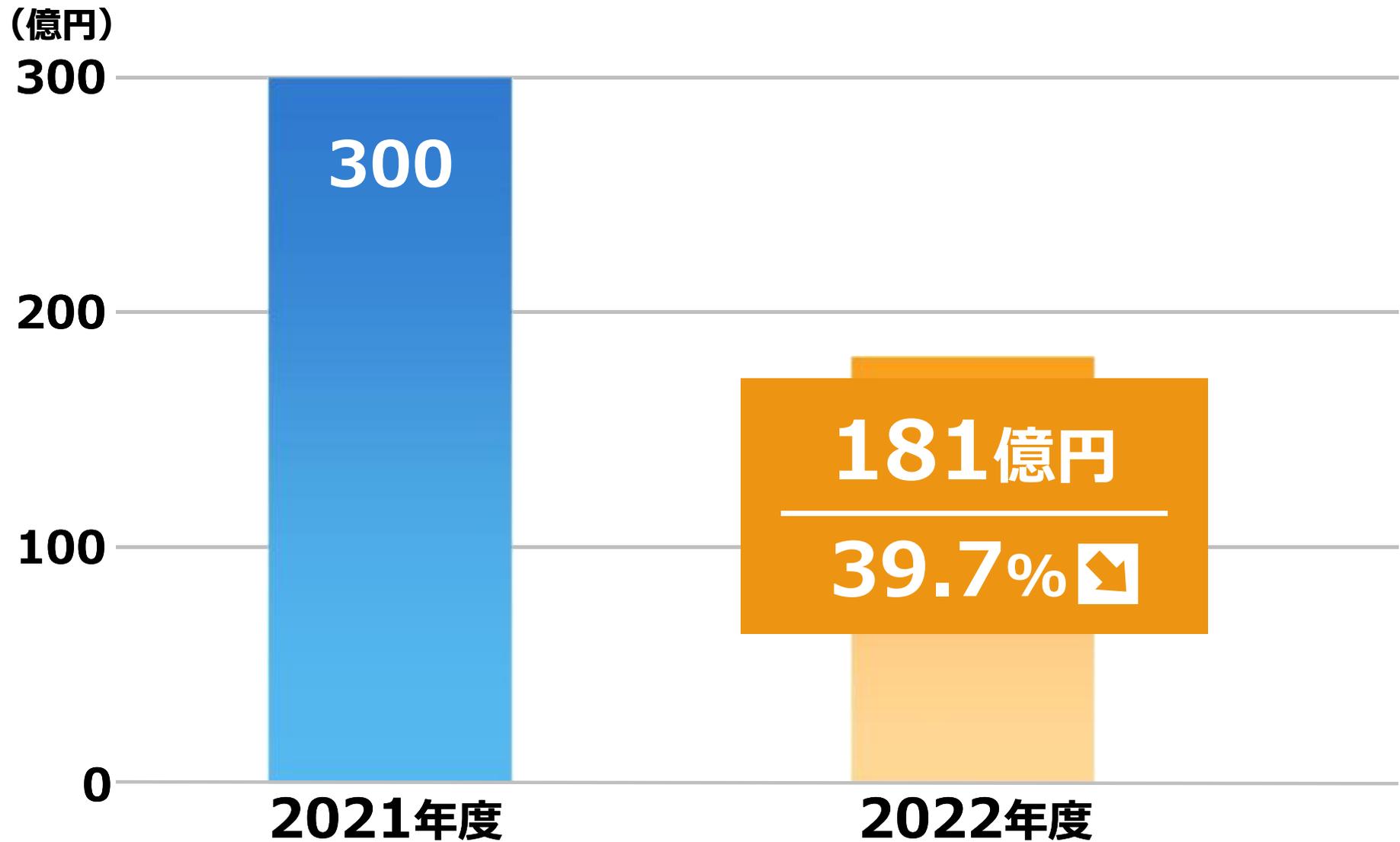
当社グループの当事業年度の業績

円安による為替効果

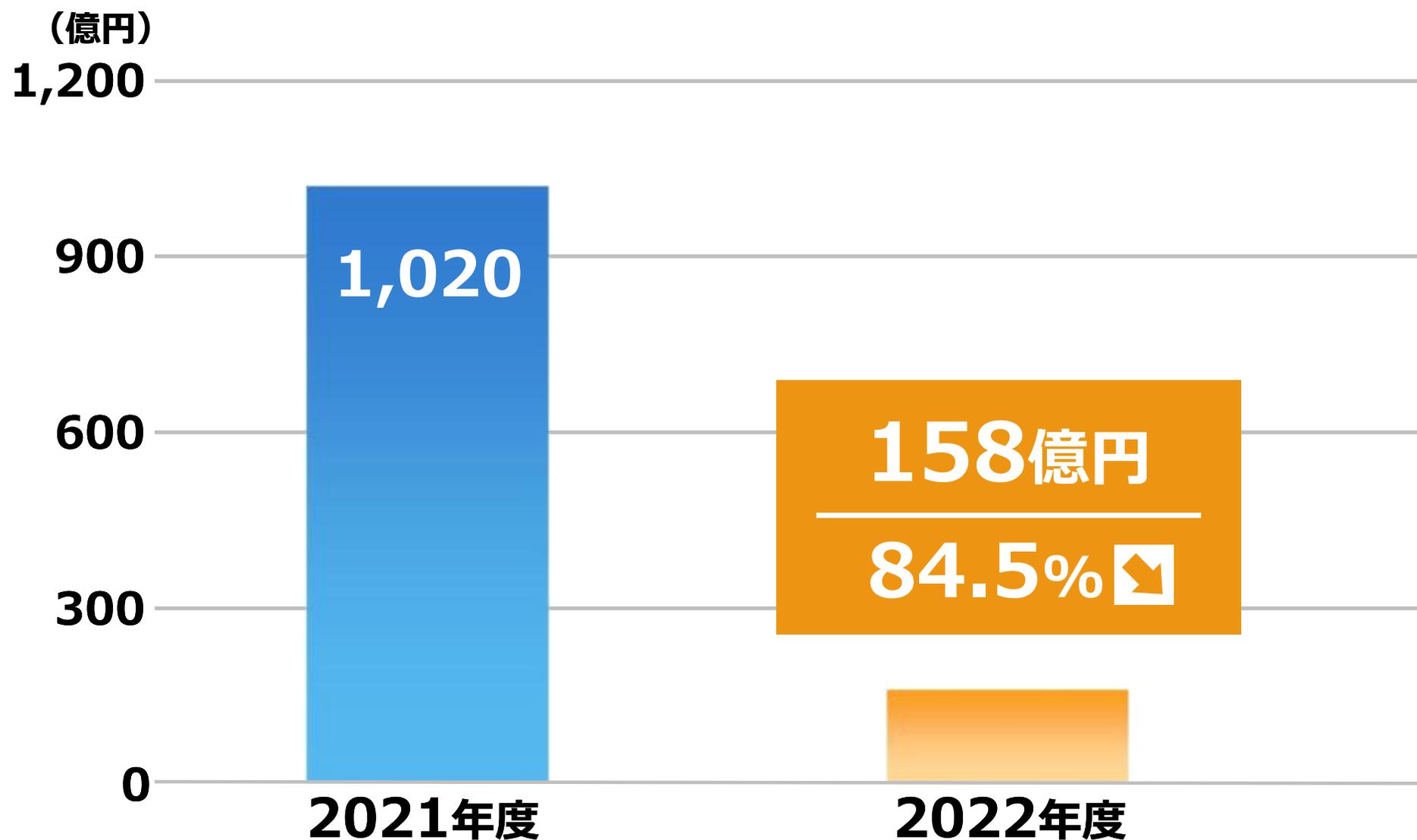
売上高



営業利益



税引前当期利益



親会社の所有者に帰属する当期利益

(億円)

800

600

400

200

0

2021年度

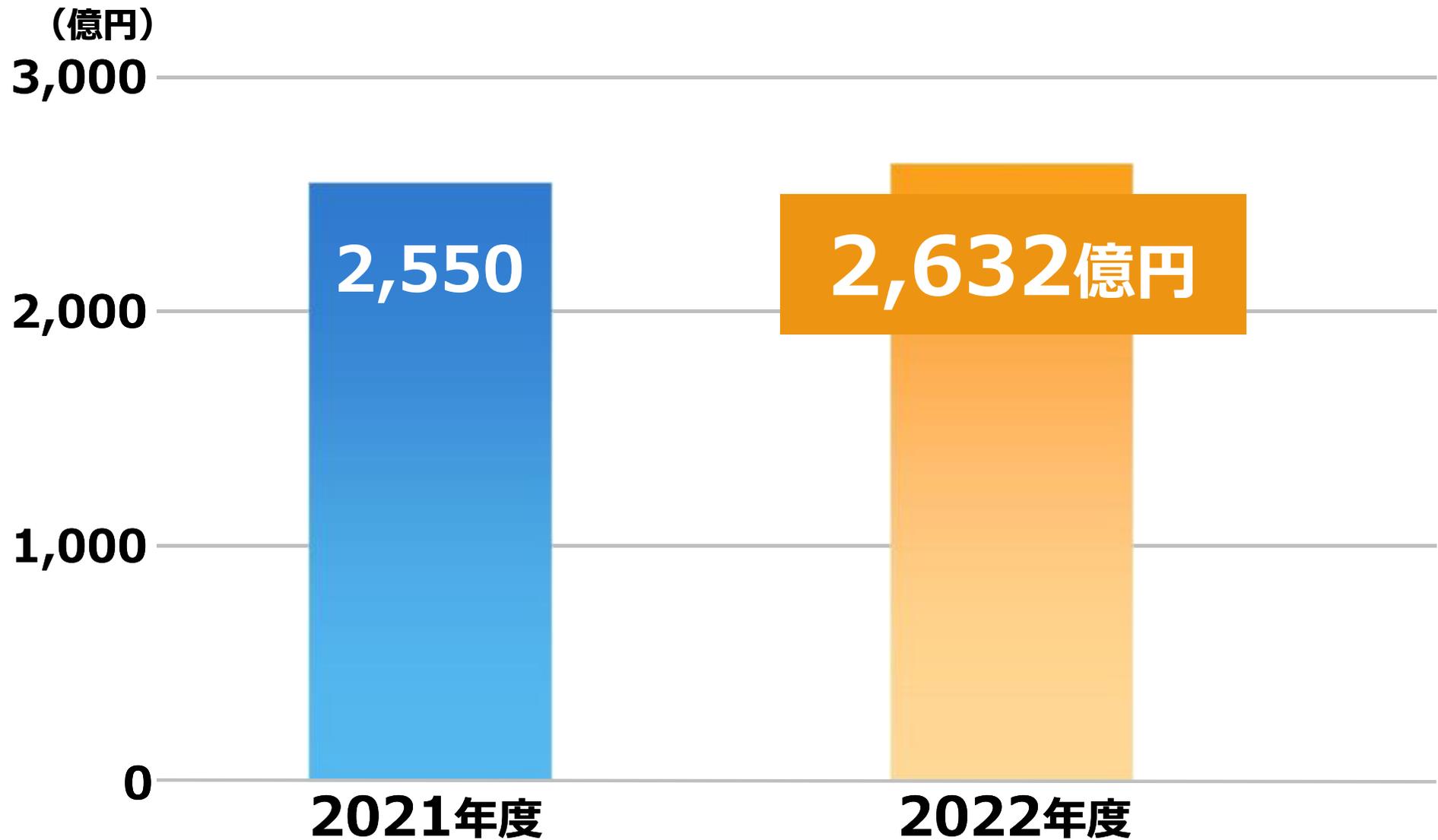
2022年度

648

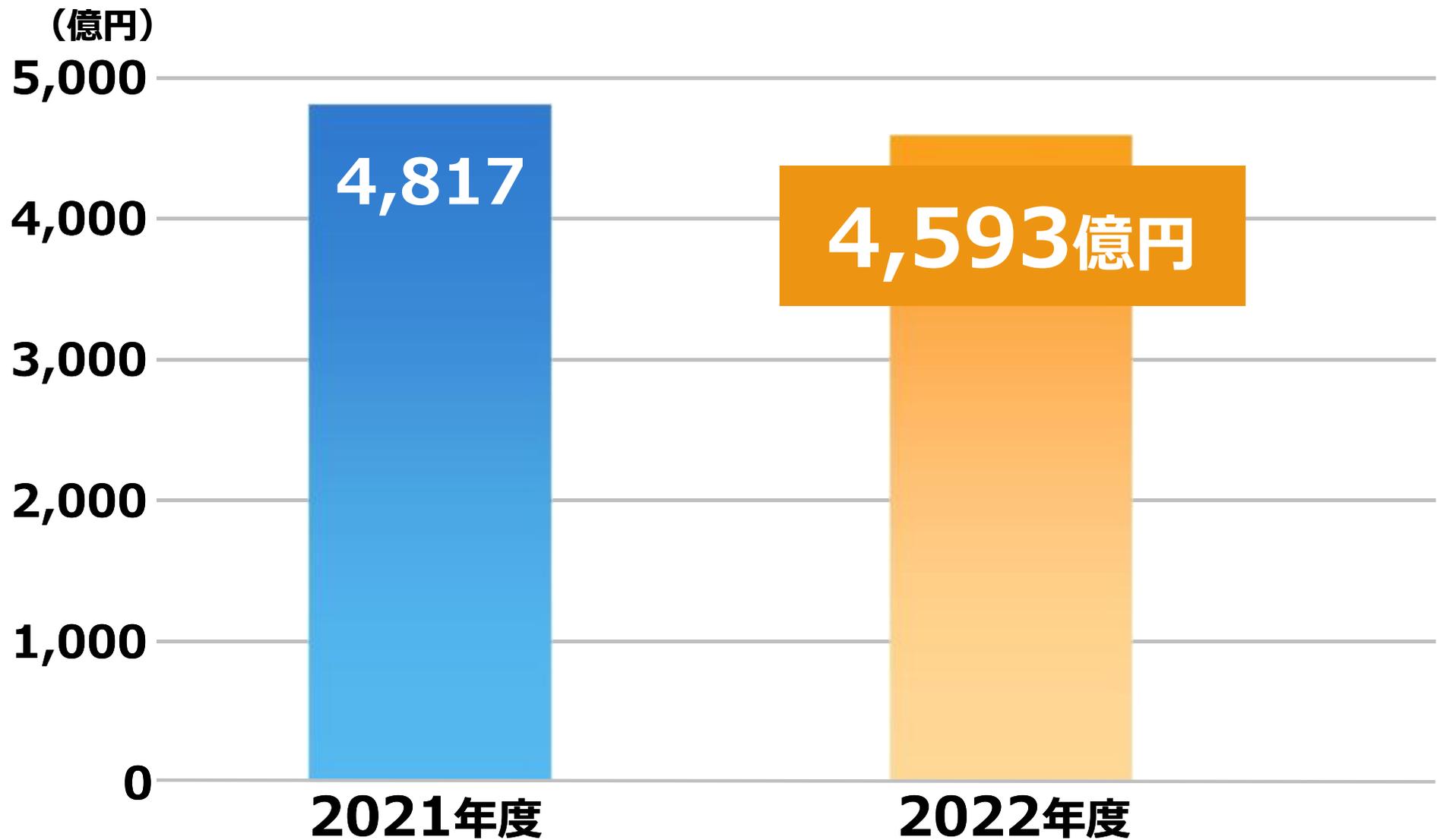
95億円

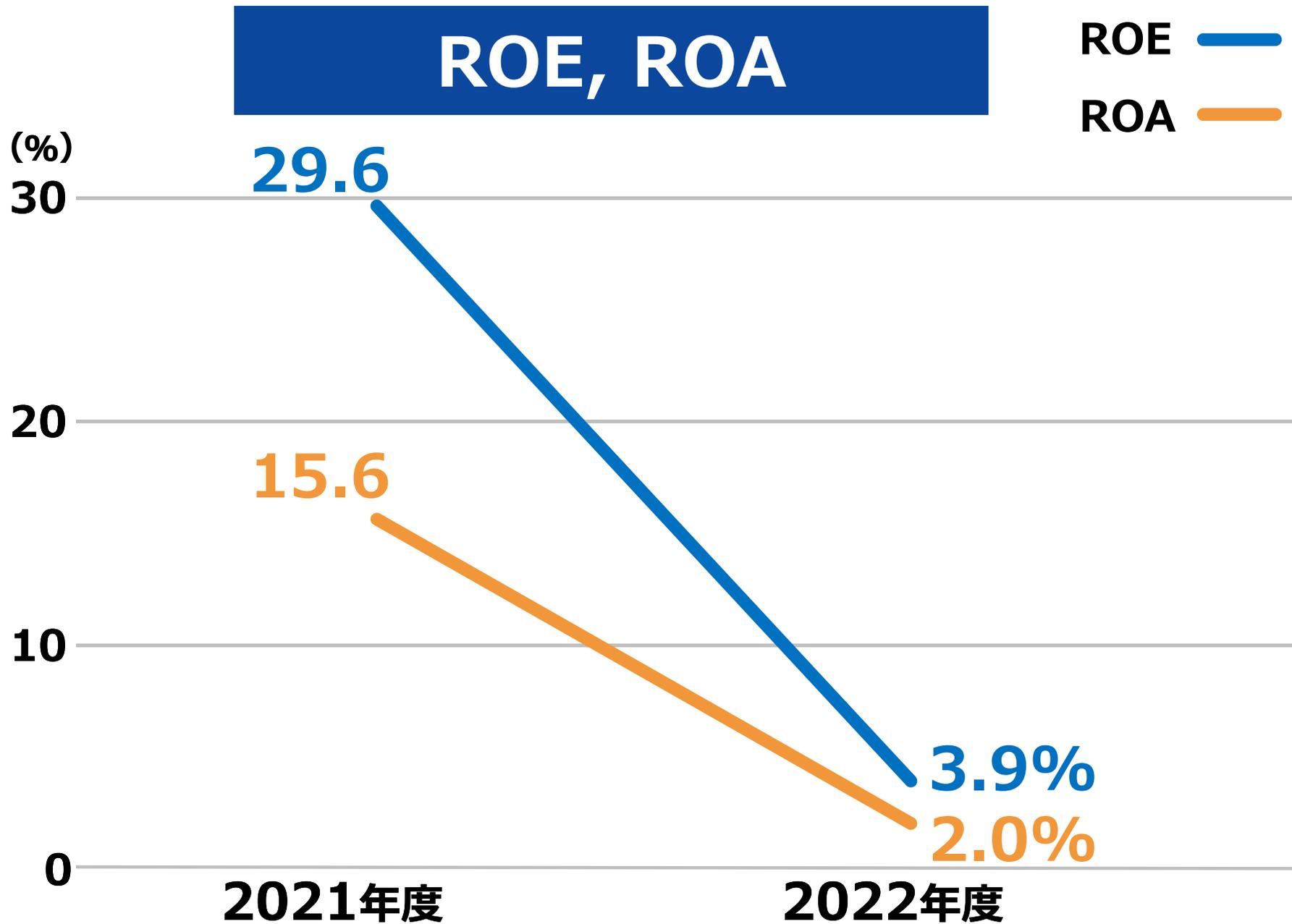
85.4% 

資本合計



資産合計





セグメント別 業績の概要



コンポーネントソリューション事業

受注高

1,469億円

4.3% 

売上高

1,406億円

1.8% 

営業利益

159億円

30.5% 

売上高

(億円)

1,381

1,406

2021年度

2022年度

営業利益

(億円)

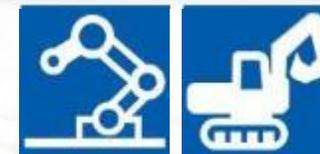
229

159

2021年度

2022年度

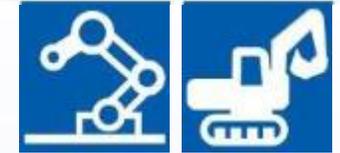
コンポーネントソリューション事業



精密減速機

EV関連への旺盛な設備投資

産業用ロボット向けでの高い需要



コンポーネントソリューション事業

油圧機器

中国市場で大幅な需要減少

トランスポートソリューション事業



受注高

785億円

19.0%

売上高

710億円

4.7%

営業利益

67億円

19.5%

売上高

(億円)

677

710

2021年度

2022年度

営業利益

(億円)

56

67

2021年度

2022年度

トランスポートソリューション事業



鉄道車両用機器

MRO*は堅調

*M…Maintenance

R…Repair

O…Overhaul

国内外で新車向け需要が低迷

トランスポートソリューション事業

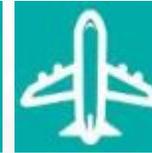


航空機器

防衛省向け輸入調達品の納入遅延

民間航空機向けで需要回復

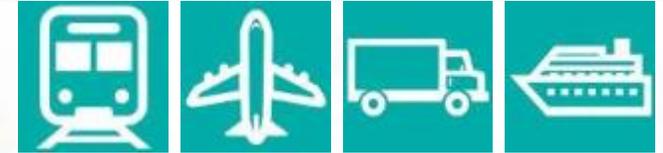
トランスポートソリューション事業



商用車用機器

国内では顧客の減産影響
東南アジア市場で需要拡大

トランスポートソリューション事業



舶用機器

造船・海運市場が好調に推移



アクセシビリティソリューション事業

受注高

868億円

15.3%

売上高

786億円

4.6%

営業利益

28億円

63.0%

売上高

(億円)

751

786

2021年度

2022年度

営業利益

(億円)

76

28

2021年度

2022年度



アクセシビリティソリューション事業

自動ドア

国内での建設需要の端境期

電子部品不足の影響

海外では円安効果



その他

受注高

175億円

19.6% ▼

売上高

186億円

1.4% ▼

営業利益

15億円

45.8% ▼

売上高

(億円)

188

186

2021年度

2022年度

営業利益

(億円)

27

15

2021年度

2022年度

その他



包装機

製品売上・MROとも
電子部品調達難の影響

対処すべき課題

2030年
ビジョン

未来の“欲しい”に挑戦し続ける イノベーションリーダー

イノベーションで“C”を変える

Core-technology (コア技術)
Customer (お客様)
Culture (生活)
Carbon-free (脱炭素) ...



財務パフォーマンス向上への取り組み

収益目標の遂行

経営資源の効率的な配分

資産効率の継続的な改善

経営基盤強化への取り組み

財務インパクトの大きいESG項目

経営会議体の実効性向上

気候変動への対応

事業を通じた社会課題の解決

強靱なサプライチェーンの構築

サステナビリティパワーの源泉となるESG項目

経営の透明性確保

環境マネジメントの推進

安全・安心・快適の追求

人的資本経営の推進

地域社会とのエンゲージメント

長期ビジョン実現への固有の取り組み

次世代技術の獲得と新規事業の創出

ものづくりのスマート化

グローバル拠点の強化

挑戦の中期

～自分が変わると会社が変わる・社会が変わる～

● 創造的思考とアクションへ
Intelligent Imagination & Execution



経営目標		2022年度
・ ROIC (投下資本利益率)	10%以上	・ 4.6%
・ 連結配当性向	35%以上	・ 98.9% ※ 第1号議案をご承認 いただいた場合
・ ESG課題の解決に注力 CO ₂ 排出量削減 (2015年基準/ SBT1.5°C目標達成)	△25%	・ 計画どおりに 進捗

社内アイデア 事業化制度 “Light” がスタート

- ✓ 2022年8月発足
- ✓ 社員から寄せられた多数のアイデアから事業化への発展を目指す
- ✓ 2022年度は、20件がビジネスコンテストへ進展



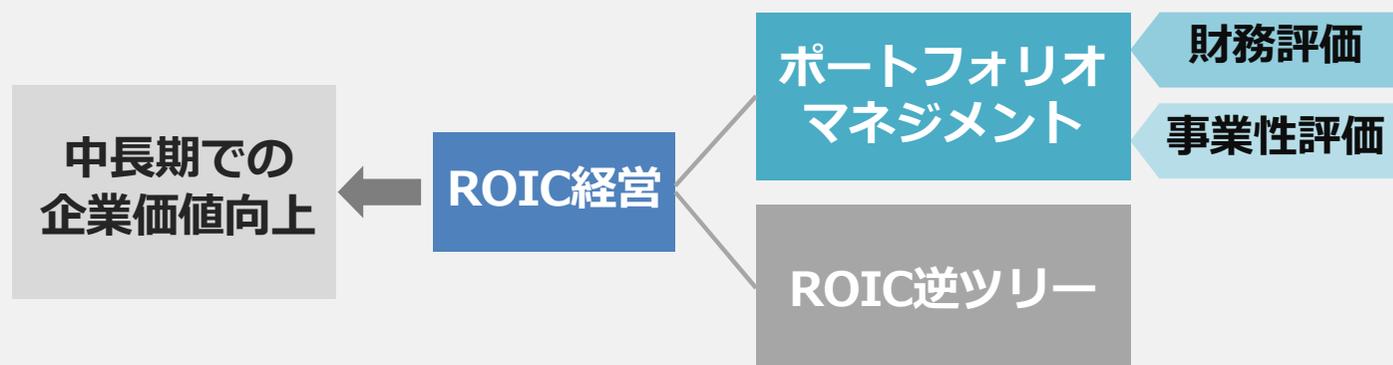
Leading **i**nnovation for **g**rowth
harmonized with **t**echnology

イノベーション 戦略室を 新設

- ✓ イノベーション活動の強化に向け、2023年1月1日付で組織を改編
- ✓ DX・CVCの推進・加速を目指し、イノベーション戦略室を新設

事業ポート フォリオ マネジメント の推進

- ✓ 2023年より、財務評価、事業性評価を含めた具体的運用を開始



舶用機器

環境保全・自律運航
対応のシステム開発を
推進

- ✓ 無人運航船の社会実装を目指す
コンソーシアム「DFFAS」に参画
- ✓ 東京計器およびDeep Sea社との共同開発で
AI技術を活用した環境保全や自律運航に
貢献するシステム開発を推進



無人運航の実証実験を行った
コンテナ船「すざく」



CMFS

新ビジネスとして
事業化へ前進

- ✓ 欧州の発電事業者、機器メーカーから多数の引き合いを獲得
- ✓ 2022年にCVC出資したeologix社と新たな状態監視の共同開発を推進



診断サービスにより風力発電機の
故障回避や長寿命化に貢献

(GW)

2050年までの世界の
風力発電量の見通し

6,000

4,000

2,000

0

2010 2020 2021 2030 2040 2050

出所：IEA World Energy Outlook 2022

カーボンニュートラル実現への取り組みを着実に推進

Scope 1 & 2目標
(自社事業における
直接・間接排出)

(2015年基準)

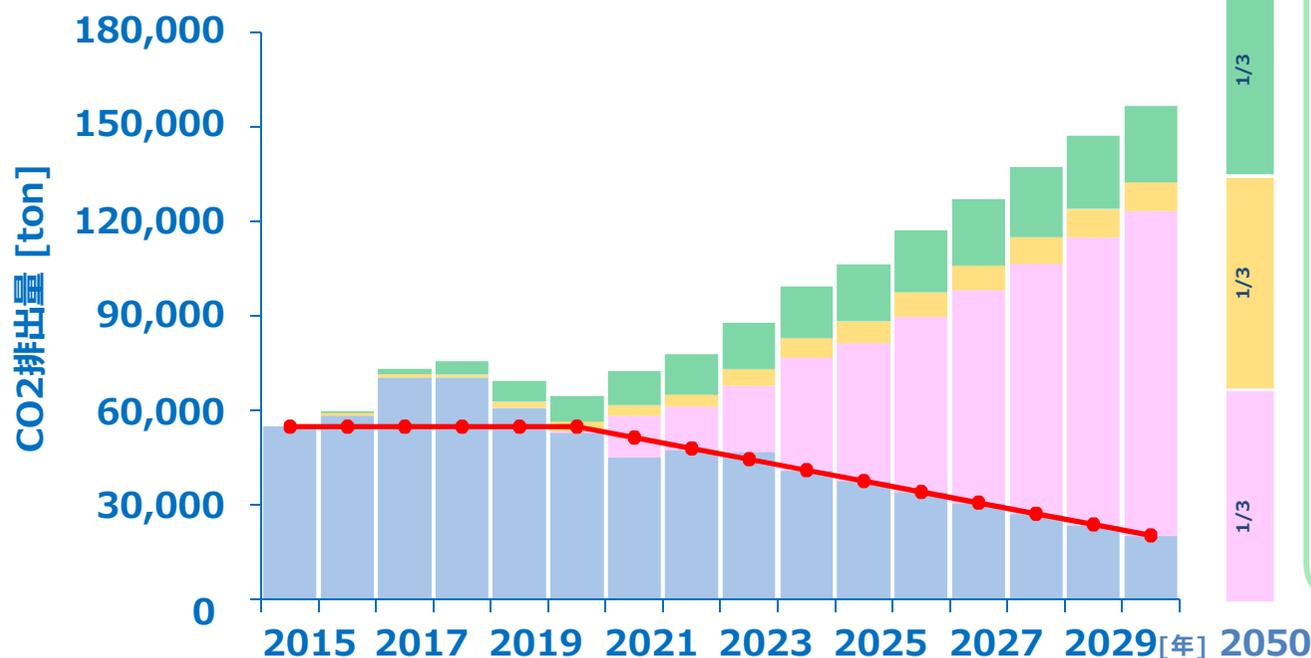
2024年 △25%

2030年 △63%

2050年 △100%

<Scope 1 & 2でのCO₂排出削減計画>

■ CO2排出量 ■ 再エネ調達 ■ 創エネ ■ 省エネ ● 目標CO2排出量



- 省エネ
営業車のEVへの切替、
加工機・空調機の高効率化
等
- 創エネ
太陽光パネル導入等の設備
投資を実施
- 再エネ
国内外での再生エネルギー
証書購入

- DJSI World、FTSEなどのインデックスへの組み入れ、主要評価機関からの高評価を継続的に獲得
- メディア調査でも高評価

Member of
**Dow Jones
Sustainability Indices**
Powered by the S&P Global CSA

2022 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数



FTSE4Good



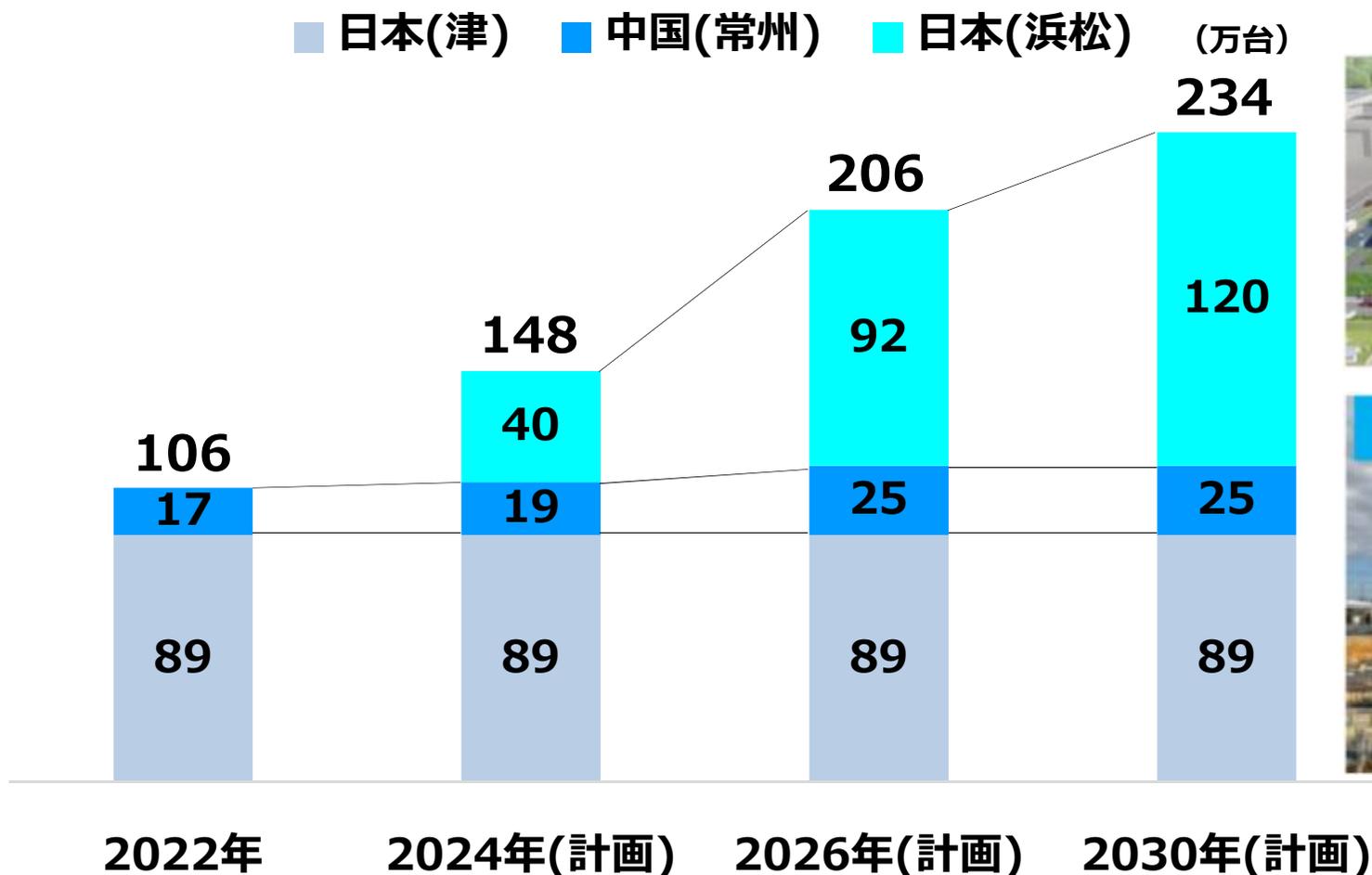
FTSE Blossom
Japan



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index



- 2023年10月 生産開始予定
- 精密減速機の定時生産能力を、2022年の年産106万台から、2026年に年産206万台に向上



うごかす、とめる。

Nabtesco

